

<前期計画における成果指標(KPI)の総括>

前期計画における重点目標ごとのKPIの達成状況は以下のとおりとなっている
 重点目標1：魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保…15指標のうち9指標達成(60.0%)
 重点目標2：安全で心地よい生活環境の創出…19指標のうち12指標達成(63.2%)
 重点目標3：産業力の強化…13指標のうち8指標達成(61.5%)
 重点目標4：まちの誇りの醸成とブランド力の向上…10指標のうち6指標達成(60.0%)
 重点目標5：少子化対策と次代を担う人材の育成…7指標のうち3指標達成(42.9%)
 全64指標のうち38指標達成(59.4%)という結果となった

<達成状況を踏まえての反省点>

1. KPIの設定が不適切なものがあつた(目標設定が過大、行政の施策が間接的にしか影響しないものを設定した等)
2. コロナによる影響(観光指標や人が集まるもの等に大きく影響)
3. 市民アンケートからの反映(アンケートの定義の変更、無作為抽出によるステークホルダーでない方の回答)

☆後期では達成できなかったものの見直しを行うとともに、指標の設定についてもしっかりと調整を行う
 あわせて情報発信を強化し、市民に施策が見えるよう努めていく

※目標値を既に達成…◎ 目標値の75%を達成…○ 目標値の75%に満たない…△ *R2実績値が確定・公表されていないため、未記載となっている。

重点目標	政策	施策	主要事業	指標	基準値	実績値					目標値	前期評価(※)	期間内の主な取組み状況・今後の主な取組み
						H28	H29	H30	R1	R2			
1. 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保	1. 機能的で魅力あるコンパクトタウンの形成	1. 賑わいと回遊性のある中心市街化づくり	①魅力あふれる街かどの創生 ②安心安全な歩行環境の整備と魅力スポットの創造 ③都市機能の充実と移動円滑化 ④安全で快適な道路空間の創生	中心市街地での新規創業者(起業者)数(件/延)	-	1	1	1	3	6 (見込み)	5	◎	<前期計画期間内の主な取組状況> ・創業者支援補助制度を継続実施し、中心市街地における新規創業者が6件の見込みとなった。 ・修善寺駅周辺整備事業として北口階段すりおよび南口横断歩道の整備を行ったほか、修善寺駅への多言語案内看板の設置が完了した。 ・公衆無線LANの整備やデジタルサイネージの時刻表設置を行い、修善寺駅の周辺環境を整備した。 ・中伊豆地区は子育てママを対象にした旧さくらこども園でのレンタルスペースの試行、天城湯ヶ島地区では旧湯ヶ島小学校・湯ヶ島幼稚園を改修した拠点づくりや伊豆縦貫自動車道月ヶ瀬ICに隣接した道の駅「伊豆月ヶ瀬」の開設、土肥地区では、旧土肥小学校のお試し活用を推進しながら、活用事業者の公募を実施するなど、各地区において拠点づくりを進めている。 ・地域づくり協議会に関しては、期間内に8つの協議会が設立した。また、修善寺東小学校区においては勉強会を行い、設立に向けた準備を進めている。 ・公共施設の管理方針を示した「伊豆市公共施設等総合管理計画」を策定した。 <今後の主な取組み> ・修善寺駅周辺のユニバーサルデザイン化が概ね整備されたため、今後は主要な観光施設(ジオサイト)の案内看板等を多言語看板に随時移行することで、コロナ禍後のインバウンド受け入れに向けた取り組みを進める。 ・地域づくり協議会に対し、ハード事業だけでなく住民主体のソフト事業が主軸となるよう支援を継続していく。 ・公共施設等の適切な管理として、借地の解消を進めていく。 ・R5年度に予定されている修善寺道路の無料化後の交通状況に合わせた信号現示の検討を関係機関に働きかける。 ・空き公共施設の利活用を引き続き検討する。また、各地区の拠点となる小学校周辺エリア(土肥・青羽根・八幡)の宅地化等、居住誘導についても検討していく。 ・伊豆市中心市街地歩行者空間創生に係る整備計画に基づき、新中学校等の整備計画もあわせた整備を進めていく。
				修善寺駅の乗降者数(万人/年)	178	181	181	179	178	*	200	△	
				修善寺駅周辺の歩行者空間整備数(ヶ所/延)	-	0	1	1	3	3	2	◎	
				中心市街地に賑わいを創出する催事回数(回/年)	-	28	50	64	44	26	36	◎	
		2. 地域振興拠点の整備	①地域振興拠点の整備 ②交流と賑わいの創出 ③天城北道路インターチェンジ周辺整備 ④地域独自の特色あるまちづくりの支援	地域振興拠点数(エリア/延)	-	2	2	2	3	3	4	○	
				「まちの居場所」整備数(ヶ所/延)	-	4	4	5	11	11	6	◎	
				地域づくり協議会数(団体/延)	2	4	6	7	7	8	8	◎	
		3. 公共施設の最適化と機能強化	①公共施設の最適化 ②公共施設の適正管理 ③未利用財産の処分と借地の解消	公共施設の延べ床面積(m ²)	186,543	180,775	180,760	179,545	180,107	179,106	150,000	△	
				公共施設の新たな利活用数(件/延)	-	1	2	4	4	4	3	◎	
				社会体育施設数(施設)	17	13	12	12	12	12	11	○	
	2. まちの骨格となる総合的な交通環境の創出	1. 交流を支える道路ネットワークの整備	①市民生活と産業活動を支える幹線道路の整備促進 ②道路環境の向上と機能保全 ③安全で快適な道路空間の創生	道路・公共交通の整備に対する住民満足度(%)	48.1	45.5	46.7	44.8	50.3	33.0	60.0	△	
				修善寺駅周辺の歩行者空間整備数(ヶ所/延)	-	0	1	1	3	3	2	◎	
				修善寺道路の利用台数(万台/年)	350	379	388	387	399	335 (見込み)	400	△	
		2. 持続可能な公共交通網の実現	①効率的かつ持続可能な公共交通体系の構築 ②公共交通の維持と利用促進	自主運行バスの年間乗車人数(人/年)	363,440	316,154	290,490	297,212	288,254	*	375,000	△	
				バス停やバス待ちスペースの整備数(ヶ所/延)	-	2	2	3	3	3	5	△	

2. 安全で心地よい生活環境の創出	1. 生涯健康の創造	1. 健康づくりの推進	①生活習慣病（がん・糖尿病等）の発症予防・重症化予防の推進 ②高齢者の健康づくりの充実 ③むし歯・歯周病予防と口腔機能の維持向上 ④予防対策の推進 ⑤こころの健康づくりの推進 ⑥生涯スポーツの推進	お達者度（男性）（年）	17.13 (H24)	17.37 (H25)	17.48 (H26)	18.36 (H27)	18.71 (H28)	18.42 (H29)	17.50	◎	<前期計画期間内の主な取組状況>
				（女性）（年）	20.99 (H24)	21.30 (H25)	21.48 (H26)	21.77 (H27)	21.65 (H28)	21.88 (H29)	21.50	◎	
				メタボ該当者割合（男性）（%）	108.3 (H25)	107.6 (H26)	113.2 (H27)	106.0 (H28)	107.8 (H29)	106.9 (H30)	100以下	△	
				（女性）（%）	118.7 (H25)	131.8 (H26)	123.7 (H27)	122.7 (H28)	126.1 (H29)	119.0 (H30)	100以下	△	
		2. 地域医療・救急体制の確保	①救急医療体制の充実 ②地域医療体制の強化 ③かかりつけ医制度の推進	市内の医療機関数	22	22	22	22	22	21	22	○	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画の見直しを実施し、鉄道駅から約1km圏内への住宅立地件数が増加した。【延べ50件】
		3. 支え合う福祉社会の実現	①地域包括ケアシステムの推進 ②地域支援事業の推進 ③障がい者への支援体制の充実 ④地域生活相談体制の充実	高齢者への福祉サービスに対する住民満足度（%）	73.8	77.2	80.9	81.9	75.9	*	85.0	△	<ul style="list-style-type: none"> R1年度より土肥地区にある旧土木事務所官舎を改修したお試し住宅を開始し、期間中に29件の利用があり、そのうち5件が移住に繋がった。また、移住定住サイト「いずぐらし」をR2年2月に作成し、開設前と比較して閲覧数も増加している。 イズシカ問屋については、R2年3月に県内初となる国産ジビエ認証を取得した。 危険空き家については、景観重点地区の指定にあわせ、観光協会・企業・住民主体による景観支障木の伐採および危険空き家の撤去が進んだ。
				ボランティア登録者数（人）	565	584	584	589	553	558	620	△	
				「まちの居場所」整備数（ヶ所/延）	-	4	4	5	11	11	6	◎	<ul style="list-style-type: none"> 新ごみ処理場の開設に向け、用地取得や施設基本計画の策定、生活環境影響調査等を行った。
	2. 心地よい環境づくり	1. 都市計画の見直しと心地よい居住環境の創出	①都市計画の見直し ②心地よい居住環境の創出 ③移住・定住の促進	駅周辺への住宅立地増加件数（件/延）	-	-	7	29	43	50	20	◎	<ul style="list-style-type: none"> 津波防災地域づくり推進計画<第2版>を策定し、土肥地区において津波災害特別警戒区域の指定を受けた。また、津波対策施設として期間中に2基の避難タワーを整備したことで延べ3基となった。
				空き地活用による身近な公園広場の整備数（件/延）	-	0	0	0	0	0	2	△	<ul style="list-style-type: none"> 防災フリーメールの登録者数増加に向け、各地区の防災訓練や情報伝達確認訓練、各種イベントの際に、登録の呼びかけを行った。
				景観重点地区数（地区/延）	-	0	1	1	2	³ (見込み)	4	○	<今後の主な取組み>
				移住件数（件/延）	-	29	42	55	78	108	25	◎	<ul style="list-style-type: none"> げんきプロジェクトの更なる推進を図る。 ※げんきプロジェクト：伊豆市独自の減塩・運動・禁煙を3本柱とした健康づくり事業
		2. 豊かな自然環境の保全	①森林・里山整備と保全の推進 ②有害鳥獣対策の推進 ③自然環境の保全啓発活動の推進 ④快適な水辺環境の整備	市有林森林施業面積（ha）	200	262.75	287.3	307.3	324.9	361.6	700	△	<ul style="list-style-type: none"> 将来の地域医療体制を維持・確保するため、市内医療従事者等で構成する伊豆市版地域医療検討会を設立し、検討を進める。 R5年度の温泉病院開院に向け、建設費の補助等の支援を引き続き行う。
				有害鳥獣の年間捕獲数（シカ）（頭/年）	554	1193	845	742	631	⁴³¹ (見込み)	700	◎	<ul style="list-style-type: none"> 土肥地区において、24時間体制の訪問看護と遠隔診療を融合した連携事業を進めていく。
				（イノシシ）（頭/年）	317	690	610	734	944	⁹²⁶ (見込み)	300	◎	<ul style="list-style-type: none"> ロコトレOB会を体操だけでなく交流を兼ねた居場所づくりの活動に広げ、総合事業通所型サービスBに発展していけるよう支援する。 ※総合事業通所型サービスB：住民主体の通所型支え合い活動
		3. 魅力ある景観の形成	①景観整備方針の策定 ②景観形成の推進 ③特定空き家対策の推進 ④花いっぱい運動の推進	景観重点地区数（地区/延）	-	0	1	1	2	³ (見込み)	4	○	<ul style="list-style-type: none"> 平時は都市公園、有事は防災拠点となる公園を日向地区に整備する。併せて隣接地に防災備蓄倉庫の整備も行う。
				危険空き家への対応件数（件/延）	-	1	6	9	9	9	8	◎	<ul style="list-style-type: none"> 牧之郷駅周辺の安全性や利便性を図るため、居住環境の向上に向けた駅広場の整備や県道から駅までの道路拡張と歩道の整備を進める。併せて民間の住宅開発時の道路整備を支援する。
		4. 安全安心な生活環境の整備	①ごみ処理の推進 ②不法投棄の防止 ③地球温暖化対策の推進 ④水道施設の整備と効率的経営 ⑤下水道の整備と効率的運営	1人1日あたりのごみ排出量（g）	954	974	978	997	1002	979	940	△	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全に配慮しつつ、安定的にごみ処理を行っていくため、新ごみ処理場・新リサイクルセンターの整備を引き続き進める。
				汚水処理人口普及率（%）	70.60	70.70	72.15	72.05	72.81	^{74.67} (見込み)	76.30	△	<ul style="list-style-type: none"> 森林経営管理制度を活用し、民間の所有する私有林の情報を市で集約し、森林環境譲与税を活用した施業・管理を行うことで施業面積の増加に取り組む。
		5. 地域防災・防犯体制の強化	①災害に強いまちづくりの推進 ②津波対策の推進 ③消防体制の強化 ④地域防災体制の強化 ⑤交通安全の推進 ⑥地域防犯対策の推進 ⑦消費者対策の推進	防災フリーメールの登録者数（人/延）	3,355	3,216	3,961	4,812	5,682	6,524	5,000	◎	<ul style="list-style-type: none"> 松原公園内の津波避難複合施設に関して、R5年度の完成を目指し引き続き検討を進め、観光・環境・防災のバランスのとれたまちづくりを進めていく。
				消火班・消防協力隊の設置地区数（地区/延）	39	52	52	54	54	54	45	◎	<ul style="list-style-type: none"> ギガスクールと連動した学校避難所への公共無線LANの整備を始めとして、引き続き整備に向けた検討を進めていく。また、デジタル同報無線設備の整備により、情報伝達手段の多様化や確実かつ迅速な情報発信を図る。

3. 産業力の強化	1. 観光交流を中心とした地域産業の振興	1. 地域資源を活用した戦略的観光事業の推進	①着地型観光の促進 ②戦略的観光事業の推進 ③東京2020大会開催を契機に外国人観光客等の誘致の推進 ④半島全域で取り組む伊豆観光の再生	観光交流客数(万人/年)	342	360	360	354	293	*	450	△	<p><前期計画期間内の主な取組状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内観光施設における多言語案内看板の設置やマップの作成を行った。また、修善寺駅・修善寺温泉・土肥海水浴場周辺など主要な観光エリアに公衆無線LANの整備を進めた。 ・市内企業・事業者に向けた支援として、創業者支援制度により5年間(H28～R2年度)で延べ33件の新規創業があった。 ・旧狩野幼稚園をサテライトオフィス等の企業誘致用施設として活用し、「狩野ベース」を開所させた(静岡大学、静岡鉄道(株))。また、旧土肥小学校についても、民間事業者を公募し、契約候補者を選定した(リングロー(株))。企業留置としては、市内郊外部に立地する食品工場(1件)の留置を図った。 ・H30年度に「ひとり親移住定住促進計画」を策定し、ひとり親の移住と旅館業への就業をサポートする取り組みを進め、首都圏での移住相談会や移住ツアーの実施、サポートコンシェルジュの設置や専用サイトの構築を行った。 <p><今後の主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会自転車競技の本市開催を契機として、自転車文化を継承し未来につながるレガシーとして、競技会場の聖地化や自転車を活用したまちづくりを推進していく。 ・創業希望者に対し、セミナーを通じて経営や財務等の創業の準備段階をサポートするとともに、創業者支援制度による支援を継続していく。 ・「伊豆市わさびの郷構想」をもとにわさびの生産振興と自然環境の保全に取り組んでいく。 ・「イズシカ」については、ジビエ認証を取得した高い安全性や「ディスカバー村の宝」の受賞(農林水産省)等のブランド力を生かし、市内外に販路を拡大していく。 ・ひとり親がより働きやすい就業形態での職業マッチングを進めるため、対象業種の拡大等を調整していく。 ・空き家の所有者に向けた片付け補助や、空き家の購入者向けのリフォーム補助により、各地区の拠点となる小学校周辺エリア(土肥・青羽根・八幡)の空き家を重点的に有効活用していく。 		
			外国人宿泊客数(人/年)	12,700	56,293	29,906	41,269	49,452	*	112,700	△				
			スポーツ交流人口(人/年)	54,300	79,165	86,909	84,605	75,321	*	100,000	△				
		2. 産業力の底上げと人材の育成・確保	①産業競争力の強化 ②地域産業を担う人材の育成・確保	観光客消費額(一人当たり・円/年)	15,802	15,444	17,994	17,602	*	*	16,800	◎			
				市内新規就農者数(人/延)	-	0	2	5	7	8	5	◎			
				市内新規林業就業者数(人/延)	-	10	12	13	13	17	8	◎			
	2. 企業誘致や雇用創出に向けた取組の強化	1. 市有施設の転用やインターチェンジ周辺等への企業誘致	①企業誘致・留置の推進	企業誘致件数(件/延)	-	0	1	1	1	4	3	◎			
				2. 農産生産法人の誘致と6次産業化の推進	①中核的農業者の育成 ②6次産業化とGAP認証による「食」ブランド化の推進	農地所有適格法人の参入数(件/延)	-	0	0	0	1	1		5	△
						耕作放棄地面積(ha)	205	141	141	157	165	190		195	◎
		3. 就業支援の充実	①就労機会の拡充 ②U・Iターンの促進	Iターン就職者数(人/延)	-	28	32	39	41	43	20	◎			
				就職面接会での内定者数(人/延)	-	14	18	22	24	24	100	△			
				3. 起業支援	①新事業創出の支援	新規創業者(起業家)数(件/延)	-	8	13	18	26	33 (見込み)		15	◎
2. 空き店舗等の活用	①空き店舗の活用促進 ②交流と賑わいの創出	空き店舗解消数(件/延)	-			4	8	10	17	23 (見込み)	3	◎			
		4. まちへの誇りの醸成とブランド力の向上	1. 個性的な市民文化・都市文化の創造	1. 地域づくり協議会制度の推進	①安心安全を支える絆づくりの推進 ②地域づくり協議会制度の推進	地域づくり協議会数(団体/延)	2	4	6	7	7	8	8	◎	
地域への愛着度(%)	50.1					54.5	53.3	48.5	52.8	71.7	65.0	◎			
2. 歴史・文化資源の保存、継承、活用	①歴史的な地域資源の保存と活用 ②文化芸術に接する機会の創出 ③地域に根ざした図書館づくり					無形民俗文化財団体数(件)	9	8	8	8	7	7	9	○	
				3. 地域で活躍する人材や活動団体の育成	①地域で活躍する人材の育成 ②まちづくり活動団体等の連携・協力の促進	未来塾の参加者総数(人/延)	93	141	168	191	199	221	170	◎	
						若者交流施設(9izu)の年間利用人数(人/年)	2,209	1,707	1,843	2,232	1,968	1,428 (見込み)	3,000	△	
2. まちの個性づくりと情報発信	1. まちのブランド化の推進			①地域ブランド化の推進 ②「農」と「食」のブランド力創生	観光交流客数(万人/年)	342	360	360	354	293	*	450	△		
			ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン認定数(ヶ所/延)		3	4	4	4	4	4	5	△			
			2. 戦略的なシティプロモーション		①シティセールスの強化	市ホームページへのアクセス数(万件/年)	347	353	346	472	628	815 (見込み)	500	◎	
	外国人宿泊客数(人/年)			12,700		56,293	29,906	41,269	49,452	*	112,700	△			
	ふるさと納税(件数・件/年)			37		2,815	1,797	2,256	2,794	2,601 (見込み)	5,000	△			
	(金額・千円/年)		3,250	224,491	259,058	396,775	612,615	555,000 (見込み)	300,000	◎					

5. 少子化対策と次代を担う人材の育成	1. 子育て支援の充実	1. 結婚、妊娠・出産、子育ての総合的な支援	①結婚の希望をかなえる環境づくり ②妊娠・出産への切れ目のない支援	合計特殊出生率（人）	1.25	—	—	—	—	1.33	1.69	△	<p><前期計画期間内の主な取組状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内で子育て中のママ達を募集し「伊豆市子育てママスタッフ」を設立。情報誌「familyizu」の作成（R3年1月現在で第10号まで発行）や、子育てイベント「ママフェス」の実施により、子育てプロモーションの実施、子育てを楽しめる場の創出を図った。 共働き世帯や就労希望の保護者のニーズに対応するため、放課後児童クラブを増加し、子育て環境の充実を図った。【H27年度：6箇所⇒R2年度：8箇所】 H30年4月に土肥小中一貫校を開校。英語ルームへの4面投影可能なプロジェクターの設置や全普通教室への大型モニターの導入等により、充実したICT教育環境を整備した。 7名のALTを1日単位で学校に配置する伊豆市独自の取組みにより、授業だけでなく、休み時間や給食の時間でも英語に触れあうことができる機会を確保した。 <p><今後の主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> 未婚化や晩婚化の解消に向け、地域でがんばる消防団の婚活イベントを実施するとともに、R4年度からは静岡県と連携した婚活を行う。 産前産後に悩みを抱える妊産婦をサポートできるよう、家事を支援する訪問や助産師による育児支援などの取り組み支援していく。 子育てママの仲間づくり等のため、子育てイベント等の実施を支援する仕組みを構築する。 生きいきプラザの有効活用を進め、子育て世代の集いの拠点として活用する。 新中学校の目指す姿や通学方法を検討しながらR7年4月の新中学校開校を目指す。 子どもたちの愛郷心を育むため、ふるさと学級や総合的な学習を伊豆っ子宣言と連動させた取り組みに位置づけながら、実施していく。
		2. 子育て環境の充実	①地域全体で子育てを支える環境づくり ②仕事と子育ての両立支援の充実 ③子どもの健やかな成長支援	子育て支援サービスの満足度（%）	66.9	64.4	63.6	67.6	69.9	*	80.0	△	
				次世代の各年齢人口（15歳までの各年齢人口の平均・人）	—	193.06	185.2	178.9	170.2	166.8 (見込み)	200	△	
	2. 教育環境の充実	1. よりよい教育環境の創出とコミュニティスクールの推進	①魅力ある教育環境の実現 ②確かな学力の定着 ③豊かな人間性や健やかな体の育成 ④特別支援教育の充実 ⑤地域と連携した独自性のあるコミュニティスクールの推進	学校教育に関する満足度（%）	69.5	93.3	93.2	93.3	93.2	*	93.0	◎	
				2. 小中連携教育の推進	①小中連携教育の推進 ②教職員の交流・連携の推進	小中一貫校数（校/延）	—	—	1	1	1	1	
		3. 家庭や地域の教育力向上と連携強化	①地域全体で子どもたちを育てる環境整備 ②児童虐待発生防止 ③家庭教育支援の充実	地域への愛着度（%）	50.1	54.5	53.3	48.5	52.8	71.7	65.0	◎	
				中学1年生の朝食摂取率（%）	94.7	97.7	94.04	93.36	93.45	93.75	100	△	